

令和4年度 学校評価の4点セット [2学期]

学校名	別府市立◆◆小学校
-----	-----------

【学校の教育目標】	夢を持ち、自ら学び続ける子どもの育成
【育成を目指す資質・能力】	主体的に学び続ける力、考えを伝え合う力

重点目標	担当	資質・能力 知識・技能 思考力・判断力 学びに向かう力・人間性	達成指標	分担	重点的取組	取組指標	取組指標に対する取組状況の確認		達成指標に対する達成状況の確認		改善点
							評価	達成状況(エビデンス)	評価	達成状況(エビデンス)	
「学びの姿勢」の育成	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○1月の別府市学力調査で、平均正答率が全国値を5ポイント以上上回る。	学校	伝え合う力を育てる	よく聞き、1日1回以上の発言の機会(ペア・グループ活動を含む)をつくる。					学校評価の4点セット特色ある事例①
			※学期ごとの中間達成指標 学期末・単元テスト ・低学年 80点80%、60点10%未満 ・中学年 75点80%、55点10%未満 ・高学年 75点80%、55点10%未満		主体的に取り組む力を育てる	1日1回以上、書く活動を授業の中に取り入れ、授業の終末でふりかえり活動を行う。 3年生以上は自主学習ノートに取り組ませる。自主学習ノートには、取り組みの振り返りを書かせる。					
			○「授業中、先生や友達の話をしっかり聴くことができている」と答える児童が85%以上		学校の取組や子どもの様子を確認する	1か月に1回以上、学校HPを閲覧する。					
			○「自分の考えを伝えることができる」と答える児童が80%以上		家庭 「家庭学習6つの約束」の日常化を図る	◆◆小版「家庭学習のてびき」を使って、毎日宿題確認をする。 学期に1回の家庭学習強化週間時には、毎日、子どもがつけたがんばりカードを確認をしてほめる。					
			○「授業中、がんばったことや分かったことを書いたり話したりすることができた」と答える児童が88%以上		地域	学校の様子を確認する	1ヶ月に1回以上、学校の様子を知らせたHPを閲覧したり、コミュニティ通信を読んだりする。				
					地域	教育活動に参加する	地域の方や企業などが系統的にゲストティーチャーとして授業等に参加する。				
「人を大切にできる気持ち」の育成	○ ○ ○ ○	○	○「友だちや先生から言われた言葉でうれしい気持ちになったことはありませんか。」という質問で、あると答える児童が90%以上	学校	ふわふわ言葉を使わせる	週1回以上は、朝・帰りの会で友達や先生から言われてうれしかった言葉を紹介し合う機会を持つ。					
			○「丁寧なあいさつ(ワンストップー礼)の習慣をつける」	学校	人間関係づくりプログラムを活用する	1週間に一度短時間(10分程度)のSGEを取り入れる					
			○「丁寧なあいさつ(ワンストップー礼)ができる」92%以上	家庭	「家庭生活3つの約束」を日常化する	あいさつのよかった子どもを朝・帰りの会を利用してほめたり、子ども同士で認め合う機会を設定したりする。 「家庭生活3つのやくそく」を心がけて毎日生活させる。					
				地域	子どもみまもり活動に参加する	見守り隊ネームフォルダを着用して、見守り・挨拶運動、危険個所報告を行う。					

【子どもと向き合う時間の確保に向けて】

校務の効率化	▽ ▽	○超過勤務時間を月平均3%削減 ○会議時間を月平均3%削減	学校	ICTを活用し、勤務の効率化を図る	・共有フォルダを作成し、行事予定や連絡資料を入れ、いつでも確認できるように共有化を図り、印刷・配布等にかかる時間を削減する。 ・各種アンケートをiPadで行い、集計等の時間を削減する。			
			学校	会議時間の削減を行う	・提案者の時間設定や資料配布での代替提案を行い、会議に要する時間を削減する。 ・簡単な提案や連絡は共有フォルダに入れることで会議時間を減らす。			
			家庭	配信メールを活用する	・保護者アンケートを配信メールで回答する。			
			地域	子どもみまもり活動に参加する	・みまもり活動やあいさつ運動に参加する。 ・地域配信メールへ登録する。			